

Ⅲ アパレル分野

1 アパレル分野について

今回メンテナンスを行った「アパレル分野」とは、「アパレル業」のうち、ニットメーカー（ニット製品）を除いたアパレルメーカーと縫製メーカーを「アパレル分野」として整理し、その中でブラウスなどの「婦人服の布帛（ふはく）製品」を対象製品として策定しました。ただし、各社により職務内容や職務分担が多様であることから、職務についてそれぞれ果たす「機能」に着目して整理し、本基準の「能力ユニット」を適宜カスタマイズすることにより、多種多様な規模・業態の企業で活用できるように職業能力評価基準を改訂しました。

2 職業能力評価基準の改訂について

(1) 検討体制

アパレル分野の職業能力評価基準改訂に当たっては、中央職業能力開発協会において、一般社団法人日本アパレル・ファッション産業協会（理事長 廣内 武）及び日本アパレルソーイング工業組合連合会（会長 吉井 豊）との連携のもと、包括的職業能力評価制度整備委員会（座長 岡本 義行：法政大学大学院政策創造研究科 教授）を設置し、検討を行いました。

(2) 改訂した内容について

「職業能力評価基準（アパレル分野）」の策定（平成17年3月公表）後、アパレル分野を取り巻く経営環境は変化し、多様化する消費者ニーズに対応して、いかに消費者のニーズを敏感に察知したアパレル企画を推進していくかが一層重要となっています。今回の改訂では、それらを踏まえて、主に以下の点を変更しました。

- 1) アパレルにおける生産管理について、マーチャンダイザーやデザイナーが企画したアパレルの生産方針を計画し生産全体の統括を行う仕事であり、独立した職種として整理するため、「アパレル生産管理」を追加。
- 2) 「アパレル生産管理」職種の追加に伴い、「生産管理」職務を追加。
- 3) 「アパレル製造」職種の「製造管理」職務については、アパレル製造職種の「共通能力ユニット」として位置づけられていた3つの能力ユニット（「製造設備の維持管理」「工場における工程管理」「設計・製造の品質・納期・コスト管理」）を独立した職務として位置づけし再構成したため、「製造管理」職務として追加。
- 4) 店頭における販売促進策や広告・宣伝を通じたマスコミュニケーション・メディア（媒体）による販売促進策の企画・立案に関する独立した能力ユニット「プロモーション企画」を追加。

5) 企業調査において、マーチャンダイザーが担当するブランド全体の利益管理・計数管理を行う仕事が存在するとの指摘が複数社から寄せられたため、新たに能力ユニット「事業計数管理」を追加。

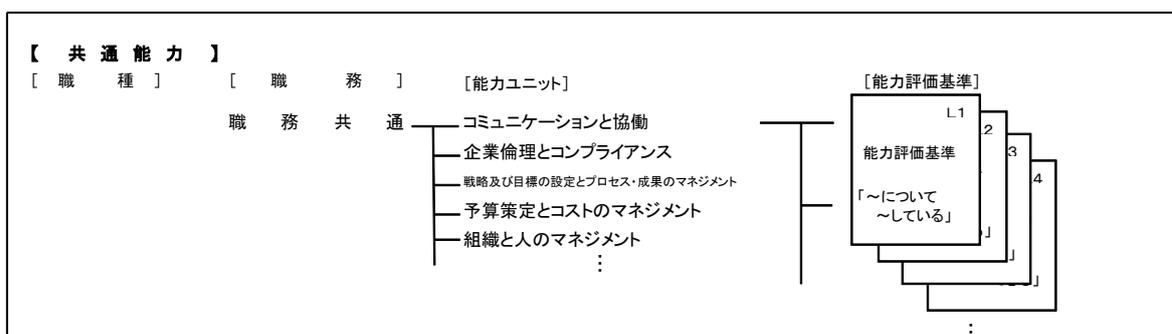
6) 「アパレル販売」職種の「販売」職務については、店頭での販売力強化、販売スタッフのキャリア目標の一つとしてレベル3を追加。

(3) 改訂後の職種・職務について

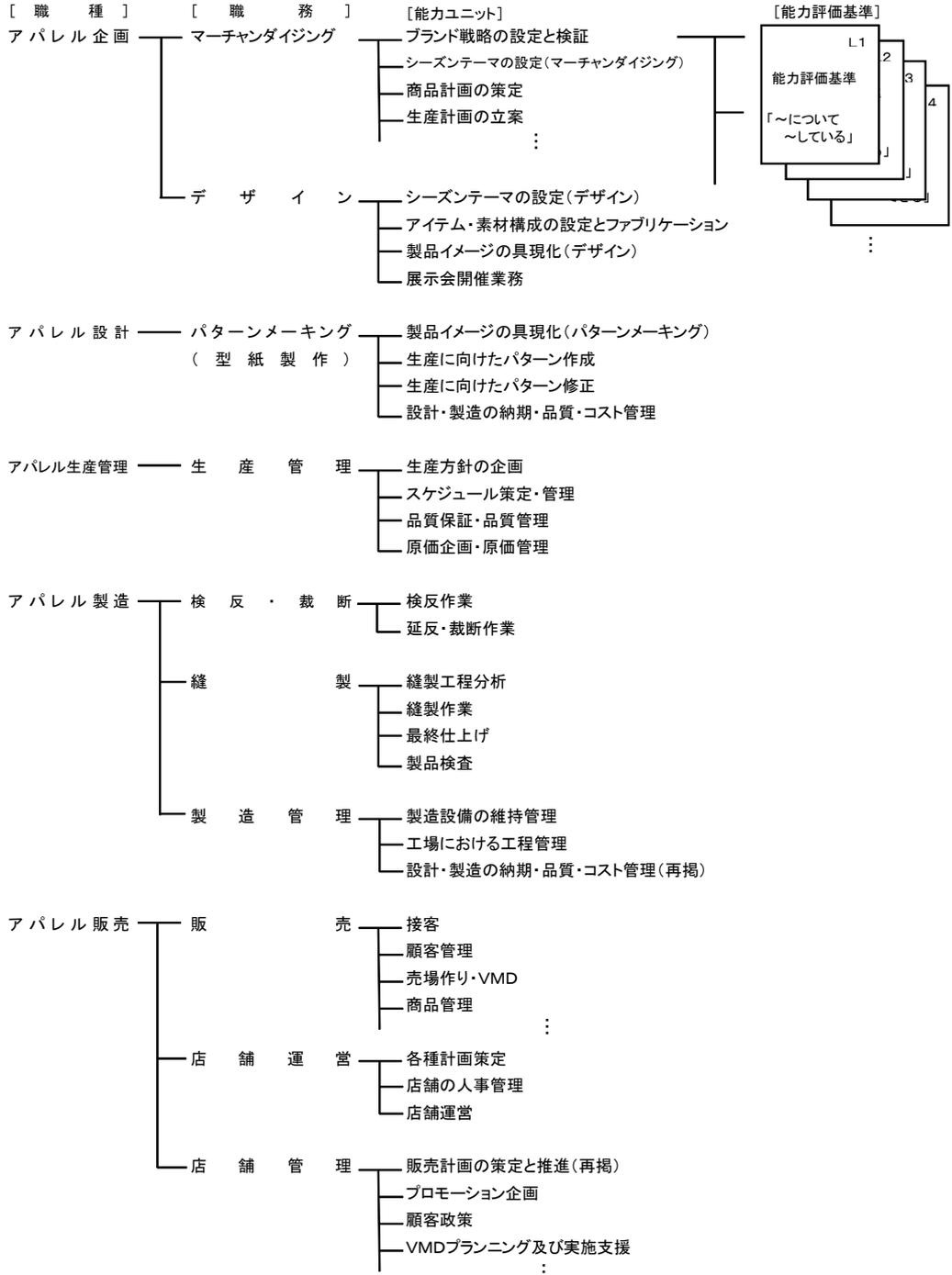
「職業能力評価基準（アパレル分野改訂版）」における職種・職務は、以下の5職種（10職務）となっています。

- 1) 企業の事業戦略を踏まえ、マーケティング戦略に基づいて商品の5適（適所・適時・適量・適価・適品）を実現するための商品（ブランド）企画・開発を行い、具体的なイメージを作り上げる「アパレル企画」（職務：「マーチャンダイジング」、「デザイン」）
- 2) デザイン画を基にブランドコンセプトを商品化するためのパターン（型紙）を作成する「アパレル設計」（職務：「パターンメイキング（型紙製作）」）
- 3) 企画されたアパレルの生産方針を定め、品質・コスト・納期を総合的に管理しながら生産プロセス全体を統括する「アパレル生産管理」（職務：「生産管理」）
- 4) 商品企画やブランドコンセプトに基づいて作成されたパターンを工場において実際に製造・量産する「アパレル製造」（職務：「検反・裁断」、「縫製」、「製造管理」）
- 5) 販売・プロモーション計画やVMD（ビジュアルマーチャンダイジング）計画に基づいて、完成された商品を店頭で販売し、あわせて顧客のニーズを把握してマーチャンダイザー等の企画にフィードバックする「アパレル販売」（職務：「販売」、「店舗運営」、「店舗管理」）

図5 アパレル分野の職業能力評価基準の全体構成



【 選 択 能 力 】



3 レベルの設定

職業能力評価基準は、担当者が必要とされる能力水準（レベル1）から組織・部門の責任者に必要とされる能力水準（レベル4）まで4つのレベルを設定しています。

職業能力評価基準全体に共通するレベル区分の考え方に沿いながら、より具体的にイメージできるよう、アパレル分野におけるレベル区分の目安を設定しました（図6参照）。

図6 アパレル分野のレベル区分の目安

レベル	レベル区分の目安		技能検定の等級 区分の目安*
レベル4	管理職（マネジメント）系 ・大規模または業績影響度の大きい組織の責任者として、組織目標を設定し、広範かつ統合的な判断及び意思決定を行う能力水準 ・担当組織の責任者として、生産計画や組織目標を設定し、その達成に向けて組織全体を統率するために必要な能力水準	専門職（スペシャリスト）系 ・担当専門分野に関する極めて高度な知識・技術・技能を有し、高い付加価値を生み出す業務を効果的・効率的に遂行することで、企業利益の創出に貢献できる能力水準	技能検定特級 程度の技能水準
レベル3	管理職（マネジメント）系 ・中小規模または業績影響度が通常程度の組織の責任者として、上位方針を踏まえて担当組織の業務計画作成や管理運営を行うために必要な能力水準 ・職長・班長等として、作業現場の管理・監督を行うために必要な能力水準	専門職（スペシャリスト）系 ・担当専門分野に関する高度な知識・技術・技能を有し、高い付加価値を生み出す業務を遂行できる能力水準	技能検定1級 程度の技能水準
レベル2	・グループやチームの中心メンバーとして、創意工夫を凝らして、自主的な判断・改善・提案を行いながら業務を遂行するために必要な能力水準		技能検定2～3級 程度の技能水準
レベル1	・担当者として、上司やチーフの指示・助言を踏まえて、定例的・基礎的・補助的な業務を確実に遂行するために必要な能力水準		

* 技能検定の等級区分の目安については、「アパレル設計職種」と「アパレル製造職種」が対応している。

なお、職種における技能検定制度の等級区分との対応関係については、概ねレベル1～2に技能検定2～3級、レベル3～4に同1級、レベル4に同特級という対応となるものの、実際には、企業規模や従業員等に求める技能や知識の深さが異なることから一対一に対応していない。このため、設定した4つのレベルに対して多少の幅をもたせる形で整理している。

4 アパレル分野の職業能力評価基準の例

レベル1	レベル2	レベル3	レベル4
------	------	------	------

ユニット番号 10S039L34

選択 能力ユニット	能力ユニット名	品質保証・品質管理
	概要	商品の品質の確保・向上に向けた取り組みを推進する能力

共通

能力細目	職務遂行のための基準
①品質方針の策定	<ul style="list-style-type: none"> ○ 品質の確保・向上に向けて、関係部署と連携して自社の品質保証体制の構築を推進している。 ○ コーポレート・ブランドや商品ごとのブランド特性を踏まえ、原材料や完成品についての品質基準等を的確に定めている。 ○ 自社の品質基準が法令や業界団体が作成するガイドライン等に沿っているか検証するなど、品質管理面でのコンプライアンスを総合的に推進している。
②品質管理の推進	<ul style="list-style-type: none"> ○ 検査基準に則って、原材料や完成品の検査が行われるよう、必要な指示・命令を行っている。 ○ 製造現場を定期的に訪問し、品質の確保を図る観点から必要な指示・助言を与えている。 ○ 不合格品が多数発生する場合には、製造担当者と意見交換しながら抜本的な改善策を検討している。 ○ 既存の検査方法の長所・短所を分析し、より効果的・効率的な検査体制・検査方法の実現に向けて改善を図っている。 ○ アパレル業界に限らず、品質管理における先進事例を参考にしながら、自社の品質保証体制のあり方の改善を図っている。
③クレーム・トラブル対応	<ul style="list-style-type: none"> ○ 大規模なトラブル発生時には、先頭に立って顧客対応等を行い、速やかに問題の拡大防止と事態の沈静化を図っている。 ○ クレームやトラブルに際し、社内各部署を巻き込んで再発防止策の取りまとめを的確に行っている。

アパレル企画

アパレル設計

アパレル生産管理

●必要な知識

<ol style="list-style-type: none"> 1. 生産拠点所在地の政治・経済・社会情勢に関する知識 2. 生産を担当するブランドに関する知識 <ul style="list-style-type: none"> ・ブランドのコンセプト、特徴 ・市場動向 など 3. アパレル生産に関する知識 <ul style="list-style-type: none"> ・アパレル生産の流れ ・自社工場及び商社、協力会社等の取引先の強み・弱みなど 4. 品質管理に関する知識 <ul style="list-style-type: none"> ・品質保証の考え方 ・品質管理における統計的手法 ・検査(検査基準、検査方法等) ・社内標準化(JIS、ISO等) 	<ul style="list-style-type: none"> ・品質ガイドライン(アパレル・ファッション産業協会「衣料品の取扱い注意表示ガイド」「輸入繊維製品の品質ガイドライン」など) ・PL(製造物責任)関連知識 5. 生産情報システム
--	--

アパレル製造

アパレル販売